

～夏空に映える、華やかな花～ ジニアが見頃です

国営ひたち海浜公園の「みはらしの里」では、約17万本のジニアが見頃を迎えました。一面に広がる色とりどりの花々は夏空を華やかに彩り、訪れる方に沢山の元気を与えてくれそうです。さらに、ジニアの隣に位置する花畑では、ヒマワリがまもなく見頃を迎える見込みです。「みはらしの丘」のコキアも現在50～60cmほどまで成長し、鮮やかな緑色が丘一面に広がっています。



みはらしの丘ふもとを彩るジニア（2025年8月3日撮影）

◆長く咲き続ける「百日草」

ジニアはキク科ヒャクニチソウ属で、メキシコを中心とした南北アメリカ原産の一年草。属名はドイツ人の植物学者ジン（J.G.Zinn）氏の名前に由来しているとされています。日本には江戸時代末期に渡来し、仏花として親しまれてきました。和名の「百日草（ヒャクニチソウ）」は、開花期間が長く、同じ株に次々と花を咲かせることに由来しています。

【ジニア】

見頃/8月2日～25日 場所/みはらしの里 品種数/1品種(5色) 本数/約17本 植栽面積/約1,500㎡

◆まるでパレット！咲き誇る色彩の世界

みはらしの里には、「赤・白・黄・桃・紫」の5色から成る「ロイヤルミックス」を植栽しています。ロイヤルミックスは草丈が80～100cmほどで、存在感がある直径約10cmの花と、夏空を彩るビビッドカラーが多いのが魅力です。今年は桃色の割合を多く植栽することで、より色鮮やかな景観を創出しています。まるで絵の具を散りばめたような花畑は、どこを切り取っても写真映え抜群です。

◆ジニアの周辺に広がる草花の様子

みはらしの丘では、爽やかなライムグリーンのコキアが成長中。現在は約50～60cmほどに育ち、今後は“ふわふわ”とした大きく丸い形状で約70cmまでに成長します。また、丘の第1頂上入口にある「ウェルカムガーデン」では、色とりどりの草花が来園者をお出迎え。夏空に映える、華やかで明るい景色が楽しめます。みはらしの里に植栽されているヒマワリは、現在つぼみの状態が多く、場所によっては咲き始めている花もあります。



古民家を背景に撮影ができます
(2025年8月3日撮影)



みはらしの里 ヒマワリ
(2025年8月3日撮影)

Information

『みはらしの丘』では、コキアが生育中。
50～60cmとなっております。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・渡邊・石井
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>